

			部会名	人づくり・地域づくり部会	
施策No.	4-1-1	施策名	地域づくりへの参加促進	施策主管課	地域づくり課
施策の目指す姿		老若男女多くの住民が地域づくりに参加しています			
<p><b>■ 施策評価シート(平成29年度実績評価)について</b></p> <p>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(前年度評価時の今後の方向性)には、いつ実現できるか分からない目標ではなく、次の評価までの間に取り組むべき具体的な目標を記載するべきである。また、その内容は、各施策の間の相互の関係性を適切に踏まえたものとするべきである(5つ目に記載されている「振興センターの利用人数を増やすためにも、人口減少に歯止めをかけることは不可欠」との記載は適切ではない)。</li> <li>・(反映状況)の記載内容のうち、1つ目の「ファシリテーション研修会を開催した」、3つ目の「イベント等の周知を12回行った」、4つ目の「市民ライター養成講座を5回実施した」については、それらが前年度評価時の今後の方向性で示された目標の実現にどの程度つながったのか、具体例を入れながら説明をするべきである。</li> </ul> <p>「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はなまき婚シェルジュ事業の事業検証の必要性の記述については、市民ニーズの低下を実際に把握する段階に至っていないため、この欄への記載は不要である。</li> <li>・(新たに取り組むべき事業はないか)の欄に記載されている振興センターの改修については、その取組が「公共施設管理計画」との整合性を踏まえたものであることを明記するべきである。</li> </ul> <p>「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。</p> <p>振興センターの利用人数については、利用人数が増加しているセンターがある中で、全体的には長期的に減少していることの原因や背景を分析するべきである。</p> <p>「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。</p> <p>(課題)と(今後の方向性)の両方に、利用人数が減少し、達成度もCである「振興センターの利用」に関する内容を記載するべきである。</p> <p><b>●シート記載内容全般について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の評価の振り返りの欄の(反映状況)の内容は、それが方向性に記載された目標の実現にどの程度つながるものなのかが分かるように記載するべきである。</li> <li>・評価を毎年行うのであれば、今後の方向性には、次の評価までの具体的な取り組みの目標を記載するべきである。ただし、今後の方向性として、実現に複数年を要する目標を設定せざるを得ない場合は、目標の実現に向けた複数年にまたがる道筋を、行程表などで分かりやすく示すべきである。</li> </ul>					